



ホームページQRコード

東日本ジャーナル

http://www.jrtu-east.org/

JR東日本労働組合

〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号

TEL (NTT) 03-3453-2107 (JR) 057-2290

発行者/渡辺 求 編集者/佐藤 孝昭

1部20円(但し組合費を含む)

第四回定期大会運動方針(案) 職場討議資料

7月28日、ホテルラングウッド(東京都)において第四回定期大会を開催します。

昨年の第三回定期大会以降、安全の確立と労働条件の向上にむけた取り組みに全力を傾注し、全組合員参加の運動を進める過程で培った組織の強化をもとに、四名の新たな仲間を迎えることができました。

第四回定期大会は、今一度「原点」に立ち返り、私たちの組織像を再確認し、ゆるぎない団結力のもとで東日本ユニオン運動をさらに前進させる重要な大会となります。職場における真摯かつ活発な討議を要請します。(一部を省略しています)

運動の基調

2013年12月16日の統一・結成から二年半が経過しました。「結成アビール」では「JR東日本労働組合の結成は、JR労働運動の統一と大同団結にむけた出発点であり、未来と職場に労働運動を残し広める」「組合員一人ひとりが主人公の組合民主主義を基本とした労働組合を創造する」「公平・公正で、明るく働きがいのある職場の創造と労働条件の向上に全力をあげる」ことを声高らかに宣言しました。

この宣言に謳われていることが、まさに私たちJR東日本労働組合が組合員をはじめ、社会に約束した「運動の基調」であり「原点」です。

さらに、刻々と変化する時代に生きている私たちが、時代や職場の変化にも十分対応し、かつ不変的である「組合員が主体」の労働組合としてめざすべきビジョンを、昨年2015年5月に「JR東日本における新しい労働組合運動の創造にむけた組織方針草案」として提起しました。

「不徹底などを事故の要因にあげています。しかし、事故の背景にある工期や作業環境、煩雑化する安全ルールやマニュアル、若手社員への技術継承など、経営側にも安全に対するマネジメントやプロセスの問題があるのではないのでしょうか。発生している問題を「問題として捉えられる」のは、現場で働く組合員、社員です。利害なく組合員、社員の本音や生の声を聴くことができるのは、経営側ではなく、私たち労働組合です。まさに安全の確立にむけた取り組みは、職場活動と密接に運動していると言えます。

JR発足から30年の節目を目前にするなか、今日までの歴史を踏まえつつ、結成の「原点」と「組織草案」に基づいた新年度における課題を提起します。

2016年度において、最優先課題である安全の確立を基礎に「JR労働者の死亡事故・重大労災ゼロ」をめざします。

残念ながら、昨年度四名の尊い命が失われ、六名の方が三大労災に遭われました。さらに、2014年2月23日の京浜東北線・川崎駅構内での列車脱線事故、2015年4月12日の山手線・神田駅〜秋葉原駅間での電柱倒壊事故、6月1日の京浜東北線・鶴見駅〜新子安駅間での線閉表し板衝突事故、2016年6月6日の常磐緩行線・松戸駅〜北松戸駅での作業用トロッコ衝突事故など、お客さまの命を奪いかねない重大事故が頻発しています。

いずれの事故も経営側は「基本動作や確認作業ができていない」「初歩的な確認ミス」など、労働者側の安全意識の低下や基本動作

の不徹底などを事故の要因にあげています。しかし、事故の背景にある工期や作業環境、煩雑化する安全ルールやマニュアル、若手社員への技術継承など、経営側にも安全に対するマネジメントやプロセスの問題があるのではないのでしょうか。発生している問題を「問題として捉えられる」のは、現場で働く組合員、社員です。利害なく組合員、社員の本音や生の声を聴くことができるのは、経営側ではなく、私たち労働組合です。まさに安全の確立にむけた取り組みは、職場活動と密接に運動していると言えます。

JR東日本が発足した1987年以降、177名ものJR労働者の命が失われています。命の重みを受け止めて、決して「JR労働者の死亡事故・重大労災ゼロ」をスローガンで終わらせてはなりません。本部と地本間ももとより、各業種の「プロ」である業種別協議会との連携を強化し、安全議論の展開と諸施策の検証や問題の抽出、さらにJR労働者の組織拡大、共闘を積極的に取り組み、労働条件の向上、職場環境

改善へと広くつなげていきます。

2016年度年末手当の取り組み及び2017春闘は、2016春闘の取り組みにおける総括をもとに取り組みます。

2016年6月に財務省が発表した一月〜三月期の法人企業統計による増の36兆6860億円に上っています。JR東日本も「2015年度期末決算」で明らかになりました。「過去最高益」を上げながら「利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当」のなかで「駅と鉄道を中心とする当社事業を将来とも強固な経営基盤のもとに発展させるため、内部留保を確保すること」を明らかにしています。

経営体力は十分あるなかで、残念ながら総じて「労働側の敗北」と言える状況下にあります。私たちが2016春闘において「敗北した」と総括した一つに「労働側の力の分散」があります。職場諸問題の解決にむけて真面目に取り組む、奮闘する組合員の姿を見て、JR東日本労働組合への加入を決意しています。私たちが宣言した「公平・公正で、明るく働きがいのある職場の創造と労働条件の向上に全力をあげる」ことを通じて、当面の目標である2500名組織の実現をめざします。

これまで、組合員同士の「顔合わせ」や「心合わせ」の場を創造し、さまざまな手段を通じて組織の団結を強化してきました。人と人の結びつきが組織を形成し、力となります。私たちJR東日本労働組合は、組合員と情報を共有し、自由に議論しあい、同じ目的にむけて全組合員で取り組むことを十全に保障します。さらなる団結の強化にむけて、地本間や分會間、同・異職種間などの議論、交流の場となる「顔が見える」取り組みを継続してつくりたいです。

昨年、安倍政権は日本が戦争の当事者になる「安保法制」を強行採決し「安保法制」によって日米が一体化し、抑止力が向上する。戦争に巻き込まれることは絶対にない」と強弁しています。しかし、相手側から見れば、アメリカを守る日本は敵国であり、日本が攻撃を受けることは火を見るより明らかです。同時に「テロを受けるリスク」は増大しました。各国のテロ事件を見れば、人が多く集まる場所が発生していることが見れば、次代につながる未来はまさに「現在の闘いなくしてはつくりえない」とを示しています。

当面の活動方針

組織強化・拡大の取り組み

- ① 2500名組織の目標実現にむけて、全組合員で目標を設定します。
- ② 「JR労働運動の三元化」の実現にむけ、あらゆる取り組みを進めます。
- ③ 新入社員・グループ会社社員の加入にむけて取り組みます。
- ④ 「地本代表者会議」「地本書記長会議」「地本組織担当者会議」を定期的に開催します。



地本三役間交流会

⑤ 地方本部間交流やプロジェクト別の交流、学習会を開催し、役員・組合員の質的向上をめざします。

安全の確立にむけた取り組み

安全は労使共通の最重要課題です。この間も私たちは、職場からの運動を通して、不安定な安全を指摘し、団体交渉や安全協議を通して経営側との議論を推し進めてきました。しかし近年、安全を損なう現象の発生は後を立ちません。

2016年6月6日、常磐緩行線・北松戸駅〜松戸駅間において列車が作業用トロッコに衝突するという事故が発生しました。幸いなことにお客さま、乗務員、関係係員にケガはなかったものの、原因は責任者が線閉着手をしていないにも関わらず作業着手を指示したこととされています。

まさに2014年2月の京浜東北線・川崎駅における回送列車と保守用車の衝突脱線転覆事故と全く同種の事故と言え、関東運輸局から同種事故を再発させたことに対する警告書が同日付で発せられています。

JR東日本の安全に対する姿勢が問われています。

立て続けに発生させてしまった事故を、私たちは労働組合として正面から受け止めてはなりません。

経営側の第六次安全五ヶ年計画「グループ安全計画2018」の策定から二年半が経過しました。しかし昨今「グループ全体で究極の安全をめざす」とした取り組みに逆行すると思われる施策が各方面で散見されています。

この間の過度な効率化の求めは要員の逼迫に伴う超過勤務の増加を招き、JR労働者の心身を蝕み続けています。また業務の機械化、システム化、外注化により、実務を通して安全意識を会得した熟練労働者がJR本体から数を減らし続けています。さらに「グループ経営構想V」に謳われた、ヒューマンエラーの極小化を意図したハード・ソフト両面の「シンブル化」の過度な推進は、仕事に経た「マニュアルでは補いきれない安全に対する暗黙

《第4回定期大会代議員決まる》

Table with 4 columns: No, 地名, 氏名, 職場名. Lists 44 members from various regions like 盛岡, 秋田, 仙台, etc.

特別代議員

Table with 4 columns: No, 地名, 氏名, 職場名. Lists 1 member from 新潟.

知や肌感覚」といった経験の継承は、もはや労働組合でしか成し遂げられませ...

①「安全をつくる」視点から効率化の検証に取り組みます。②経営協議会(安全分科)を全地方本部で開催する...

③「労働組合として」すべての労働災害ゼロをめざす。④「安全・健康・ゆとり」を前提とした労働条件・労働環境の維持・改善は労働組合の本分です...

⑤「賃金は自分が引き上げるもの」とする考え方を蔓延させました。そして、夏当を是とすると、さまざまな労働条件、労働環境の改善は「勝ちとる」ことなしに...

⑥「労働条件に関する協約」の改訂に取り組みます。⑦「労働条件に関する協約」の改訂に取り組みます...

⑧「地本業務担当者会議」を適宜開催します。⑨「労働条件に関する協約」の改訂に取り組みます...

⑩現在の人事・賃金制度を鑑みた賃金引上げ及び手当要求のあるべき姿を全組合員で議論します。

労働条件の改善にむけた取り組み

「安全・健康・ゆとり」を前提とした労働条件・労働環境の維持・改善は労働組合の本分です...

①「安全をつくる」視点から効率化の検証に取り組みます。②経営協議会(安全分科)を全地方本部で開催する...

③「労働組合として」すべての労働災害ゼロをめざす。④「安全・健康・ゆとり」を前提とした労働条件・労働環境の維持・改善は労働組合の本分です...

⑤「賃金は自分が引き上げるもの」とする考え方を蔓延させました。そして、夏当を是とすると、さまざまな労働条件、労働環境の改善は「勝ちとる」ことなしに...

⑥「労働条件に関する協約」の改訂に取り組みます。⑦「労働条件に関する協約」の改訂に取り組みます...

⑧「地本業務担当者会議」を適宜開催します。⑨「労働条件に関する協約」の改訂に取り組みます...

⑩現在の人事・賃金制度を鑑みた賃金引上げ及び手当要求のあるべき姿を全組合員で議論します。

教育・広報活動の取り組み

①本部が主催する「学習会」の開催をめざします。②各地本の計画する「セミナー」や「学習会」など...

青年女性委員会の取り組み

①各地本青年女性委員会の強化を図り組織拡大に取り組みます。②新入社員の加入にむけて取り組みます...

2016年度組織運営

① 2016年7月28日(木)に第一回中央執行委員会を開催し、新執行部の成立とします。② 各地方本部は2016年9月末日までに定期大会を開催し、機関...

福利・厚生の実現にむけた取り組み

①全国交通共済協、全労済と連携して、さまざまな共済事業の加入促進などに取り組みます。②東日本ユニオン独自の...

私の〇〇自慢

千葉地方本部 力秀樹さん (銚子運輸区)

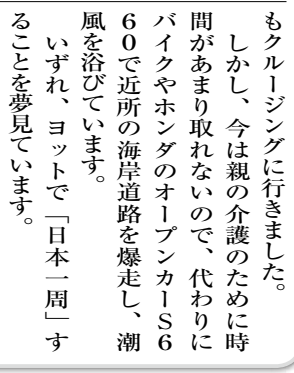
私の趣味はヨットです。昭和56年(1981年)に国鉄に入り、地元である銚子駅から、鉄道人生がスタートしました。



海が近い銚子に住んでいながら、海に関する趣味を持っていなかった。私は「何かマリンスポーツでもしようか」と一念発起し、マリンスポーツの花形である「ヨット」に乗ることを思い立ちました。



もクルージングに行きました。しかし、今は親の介護のために時間があまり取れないので、代わりにバイクやホンダのオープンカーS660で近所の海岸道路を爆走し、潮風を浴びています。



①組合員からの声をもとに、さまざまなレクリエーションを開催します。②「サークル連絡会」の結成にむけて準備を進めます。

①組合員からの声をもとに、さまざまなレクリエーションを開催します。②「サークル連絡会」の結成にむけて準備を進めます。